

## 令和2年度 第1回利尻富士町総合教育会議 議事録

### 1 開催場所及び日時

- (1) 日時 令和2年3月1日(月) 15時～
- (2) 場所 利尻富士町役場2階 庁議室

### 2 出席者氏名 ※欠席者なし

#### 【町長部局】

利尻富士町	町長	田村 祥三
	総務課長	安田 利之
	総務係長	山本 博文

#### 【教育委員会部局】

利尻富士町教育委員会	教育長	島谷 一昭
	教育委員	佐藤 吉郎
	教育委員	山本 洋子
	教育委員	寺島 信宏
	教育委員	山澤由起子
	次長	松谷 大輝
	次長補佐	山谷 文人
	主事	田原慎太郎

### 3 傍聴者 なし

### 4 議題

- (1) 利尻富士町教育大綱(2018年度～2020年度)推進状況について
- (2) 新・利尻富士町教育大綱の策定について
- (3) 教育環境の整備等について
- (4) その他

### 5 会議の内容

別紙のとおり

## 【会議の内容】

### 1 開 会（安田総務課長）

### 2 町長挨拶（田村町長）

大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

コロナの関係で色々と制約のある中、この1年間教育界も大変だったのではと思う。教育のIT化も進み、国の補助事業においてGIGAスクール構想や町の方でも学習保障端末の整備を進め、1人1台となっているところでもあります。そういうことでは、時代の流れに乗って、悪いことばかりではなく、良い面もあったのではないかと考えている。

本日の総合教育会議では、3年に1回の新教育大綱の見直し・策定ということになっておりますので、皆様方のご意見を聞きながら教育大綱を策定していきたいと思っておりますので、限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見等いただきながら会議を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

### 3 説明・協議事項（進行：田村町長）

#### （1）利尻富士町教育大綱（2018年度～2020年度）推進状況について

資料1～2ページに基づき、推進状況を説明（松谷次長）

○山本委員 スクール・サポート・スタッフ（以下「SSS」と表記）の採用状況をもう一度説明していただきたい。

○松谷次長 道教委では、コロナの関係で各学校においてSSSを採用し給食配膳や校内の消毒作業、事務作業のサポート等学校現場・教職員の負担軽減や利便性向上を目的に開始された事業であり、地元からの採用ということで、9月にお知らせしり富士により募集を開始したが、なかなか人材がおらず、12月になってから応募があり、その方の紹介等もあり各学校に1名ずつ配置できたところでもあります。

12月に鴛小、鴛中に1月から利小・鬼中にそれぞれ採用され、配置されております。

予算の関係で社会保険に加入できず、週19時以内と決められており、今年度の措置としては制約が設けられている。

○山本委員 1人ずつの配置で人員的に足りないのか。

○松谷次長 人数がいれば、効率的で学校の負担軽減につながると思うが、予算の関係もあることから協議が必要となってくる。学校からは1人の配置でも大変ありがたいとは聞いている。

- 町 長 コロナの関係で先生方も通常以外の業務や負担も増えていたりすると思うので、大変ありがたいと思うが、できることであれば、コロナに関係なく道教委で各学校に配置してもらえれば、働き方改革にも繋がると思う。
- 山本委員 人材確保が課題のようですね。
- 松谷次長 そのとおりです。希望する意欲のある方がいればいいのですが。

## (2) 利尻富士町教育大綱の一部改正について

資料3～10ページに基づき説明（松谷次長）

- 町 長 事務局説明のとおり、別資料にもありますが、中央教育審議会の答申等時代の流れ、時代背景に対応した大綱となるよう改定していかなければと思っております。
- 各委員のご意見を聞きながら、大綱を定めたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
- 全国津々浦々、どこにいても同じ教育が受けられるよう学習を止めてはいけません。GIGA スクール構想の推進では、当町は他のところから見てICT教育が進んでいる方かもしれない。
- 高校生への支援においても、両町でタブレット端末の整備を実施している。
- 佐藤委員 他の地域の道立高校はタブレット端末がないのか。
- 教育長 R4～BYOD方式での対応としているようである。なかには、町や別組織が整備し貸与しているところもあるようである。
- ICT教育の話が出たので補足となりますが、当町は10月末にタブレット端末が納入となり、一早く利活用している状況である。
- また、コロナによる臨時休業（3月～）の関係では、録画授業のVD配布やネット配信等実施した。
- タブレット整備後は、オンライン授業が可能となり、コロナだけでなく吹雪による臨時休業、欠席者等に即座に対応できるようになっており、学びを止めない、学習保障が可能となっている。授業は録画もできることからオンデマンドで後からでも視聴が可能である。
- 大綱の基本指針1個に応じた指導「個別最適な学び」とあるのは中教審の資料にもあるとおり、これらと連動して策定しているものであり、これに関連し「ICT教育活動補助金」として、令和3年度で予算化したところである。これはAI型アプリソフトの導入経費となっており、一人一人の習熟度に合わせてAIが出題するため、その子

のつまづきや苦手な部分などが把握でき、効果的・効率的な学習ができるものである。インターネット環境があればどこでも学習が可能で家庭学習での活用も考えている。

また、その日の出欠や健康観察シートを児童生徒が登校前に入力することで、リアルタイムに事前に把握することができ、教員の負担軽減にもなっている。駕中を推進校と位置付けし、得意な先生方を講師として各学校に派遣し指導及び情報共有してもらっている。

- 山本委員 子供たちはタブレット操作等はできるのか、慣れているのか。
- 教育長 子供たちの方が慣れていて、十分に活用している。
- 町長 ICT教育を進めるうえで、先生方の負担はないのか心配していたが、学校間で連携しているようであり、一度視察に行きたいと思っている。
- 山澤委員 駕小でも先日、家に持ち帰ってきてテストを行った。今後オンライン授業のルール化等が必要と感じた。
- 山本委員 ICT教育のほか、それ以外でも子供たちへの支援を継続していただきたい。
- 町長 その他意見がないようであれば、大綱についてこれでよろしいでしょうか。

**【全員異議なし 承認】**

### (3) その他

特になし。